

講義名・講師:	2009年 月 日 : ~ :
---------	-----------------

	チェックポイント	評価	メモ
資 質 等	専門能力 講義に見合う専門知識・技術があったか？ (経歴・肩書きでなく、講義内容自体で評 資格等 講義に関係する経歴、資格等の取得の有 無。 (注:必須ではないが、基本資格の確認が 質・水準 講義内容は、目的とする内容を尺度とし て、十分な水準があったか？ 正確な内容 だったか？	不足 保有 十分に保有 指導者資格あり。 他資格・経歴:	
	講義の 内容 適合性 特に、受講者に教授したい内容、または受 講者の水準に適合するものだったか？	低い やや低い 平均的 質が高い 適切 受講者にとって易しすぎ る	
講 話 の 技 術	更新性 講義内容を更新し、最新の情報を盛り込ん でいるか？	古い、マンネリ ほぼ良好 よく更新.	
	量 講義時間の中で、情報量は十分であった か？ 不足、あるいは過大ではなかったか	不足 やや不足 平均的 豊富 過剰	
	話し方 話術は適切で、受講者が聴きやすかった か？	不得手 課題あり(高圧的、他) 適切	
	モラル 講義内容、用語等に、モラルが保たれてい るか？ (差別性、ハラスメントに関する問 題のある発言、表現がないか)	課題あり 適切	
	配布資料 見やすさ、創意工夫、受講者にとっての有 用性があったか？	適切 見にくい(文字サイズ、 写真のみ) 他:	
	スライド (PPT) 見やすさ、創意工夫、受講者にとっての有 用性があったか？	適切 見にくい(文字サイズ、 写真のみ) 他:	
	他の教材 わかりやすい実物・モデルなどを工夫して いたか？	特になし 工夫あり:	
双方向性 受講者からの質問が活発にあったか？ そ れに適切に回答できていたか？	質問なし 適度な双方向性 過剰な議論		
時間の管 理 予定の講義時間に収まったか(超過しな かったか)。 適度な休憩があったか？	超過、 時間切れ 適切 時間の過度の余り		
受 講 者 の 反 応	受講態度 受講者は集中して熱心に聴講していた か？ 飽き、退屈、居眠り、不満、反発.	課題あり: ほぼ許容範囲. 良好な受講状況.	
	満足度 受講者は、その講習内容・講師について、 満足している様子だったか？ (アンケート の結果は、満足度は高かったか？)	不満が残った 可不可なし 満足 非常に満足	
	結論 講師は、講義が目的とした知識・技術をよく 教示し、また受講者がそれを習得すること ができたか？ (主催者としての評価の結	あまり習得できなかった。 ほぼ習得できた。 かなり良好に習得でき	
対 策 案	講習内容・講話技術とも良好で、今後も継続的な向上・更新を期待し、講師を継続依頼するべきである。 [講習内容、講話技術]に若干の改善提案を要請し、今後も当該項目の講師を依頼することを許容できる。 講師を継続依頼する場合は、[講義、講習内容、講話技術]に変更・改善を要請することが必要である。 当該講座の向上・改善のためには、不適格。他の講師をさがすべきである。 当該講師は継続に値するが、次回は依頼せず、新たな講師を開拓することが妥当と考えられる。		
その他の関連要因			
施設・ サービス	講義をする場所の環境は良好だった か？ 広さ、室温・湿度、明 ろさ、騒音、音響 机・椅子、 プロジェクタ、サービス(飲料、他).		
参加料	受講者の印象は(推定)	安価 適切 高額	
収支	主催者にとって、受講料その他の 講習会収支が適切だったか	赤字~厳しい ほぼ 妥当 十分な黒字決 算 その他:	
記述:			
評価者:		sign:	